

農薬の安全使用と飛散防止対策を徹底しましょう。

薬 剤 名	対象病虫害	処理方法
ベンレートTコート	斑葉病 裸黒穂病 なまぐさ黒穂病	種子10kgに 薬剤50gを 粉衣する。
アドマイヤー水和剤	ヤギシロトビムシ	種子10kgに 薬剤15gを 粉衣する。
クルーザーFS30	ヤギシロトビムシ (多発田)	種子10kgに 薬剤60mℓを 塗沫する。

※ベンレートTコートとアドマイヤー水和剤は混用できる。
※ヤギシロトビムシ多発田では、ベンレートTコートとクルーザーFS30を混用する。

赤 か び 病 防 除

品 種	防 除 適 期	薬 剤		10a当り使用量
シロガネコムギ	※開花期 (出穂後7～10日)	粉 剤	ワークアップ 粉剤DL	3kg
		液 剤		2,000倍 100L
ミナミノカオリ	1回目: 開花期(出穂後7～10日) 2回目: 1回目の5～7日後		ミラビス フロアブル	16倍 0.8L

※開花期に降雨が続く場合、シロガネコムギも赤かび病が多発するため、2回目防除(1回目防除の5～7日後)を行います。

茎葉処理

ハーモニーDF	は種後～節間伸長前	5～10g (水100L)
エコパートフロアブル	一年生広葉雑草	節間伸長開始期まで 50～100mℓ (水100L)
バサグラン液剤	一年生広葉雑草	小麦の生育期 収穫45日前まで 100～200mℓ (水70～100L)

注) ①ハーモニーDF散布に当たって周辺作物に被害を与えるため、散布時の飛散(専用ノズルの使用)や散布後の流出に十分注意する。
②ハーモニーDF散布に用いた器具類は消石灰500倍液を10分間循環させた後20分間放置し、排出後清水で洗浄する。

カラスノエンドウ対策: ①発生の揃う2月に薬剤防除を実施する。
②更に開花時期に残った分を根こそぎ取り除く。

カズノコグサ、タデ対策: ①前年度発生し場合は排水対策を徹底し、播種直後の除草剤(リベレーターフロアブル、リベレーターG(粒剤))を散布する。
②1月下旬～2月上旬にカズノコグサやタデに効果が高いハーモニーDFを散布し、中耕・土入れを徹底する。

実需者が求める品質の高い(Aランク)小麦づくりに努めよう!!